

メチレンブルー土壌凍結深度計の埋設方法②（例）

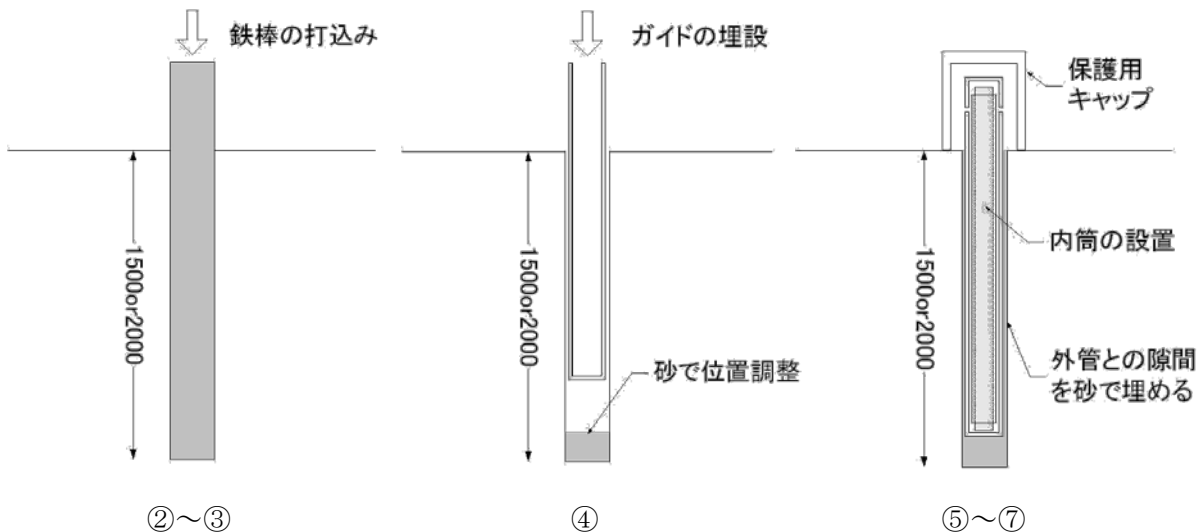
■土壌凍結深度計の埋設手順例（マンホール SMB-MH 不要の場合）

※舗装面ではない車両等が往来しない地盤に埋設する場合は、マンホール SMB-MH を特に必要としないことがあります。この場合の埋設手順の例を示します。

- ① 埋設箇所の設定をします。
- ② 鉄棒を地盤に打ち込みます。
鉄棒は凍結深度計のガイド（外管）より太いものを使用してください。
- ③ 鉄棒を抜き取ります。
- ④ 凍結深度計ガイド（外管）の埋設をします。
鉄棒を抜き取ったあと凍結深度計ガイド（外管）を入れるときに、砂利等が穴の中に落ちて1回で所定の深さまで入らないことがあります。そのときは②と③の作業を繰り返します。
また、所定の深さより深く鉄棒を打ち込んだ場合は、砂を注入して位置を調整します。
- ⑤ ガイド（外管）と地盤との隙間に砂を注入して密閉します。
ガイド（外管）と地盤との隙間が大きいと正確な測定が出来ない場合があります。
- ⑥ 凍結深度計（内管）を凍結深度計ガイド（外管）に入れます。このとき内管を落下させないようにしてください。
外筒のキャップは内部に水が浸入しないようにテープで固定してください。
- ⑦ 凍結深度計を不測の事故により破損させないように、上部に適当な保護キャップを被せてください。
- ⑧ 埋設箇所を正確に測定、記録をします。

■測定について

凍結深度測定は目的に応じて測定間隔を設定してください。また、測定する時間は可能な限り同時刻とすることをお勧めします。



※SMB-1.0 型の場合は鉄棒の打ち込み深さは 1000mm となります。



各種計測システムの販売・サービス
エス・シー・ビー

〒063-0061 札幌市西区西町北 14 丁目 3 番 11 号

TEL/FAX 011-663-6753

E-mail: scb_tsuji@kna.biglobe.ne.jp

URL : <http://www7a.biglobe.ne.jp/~SCB/>

SMB20141209